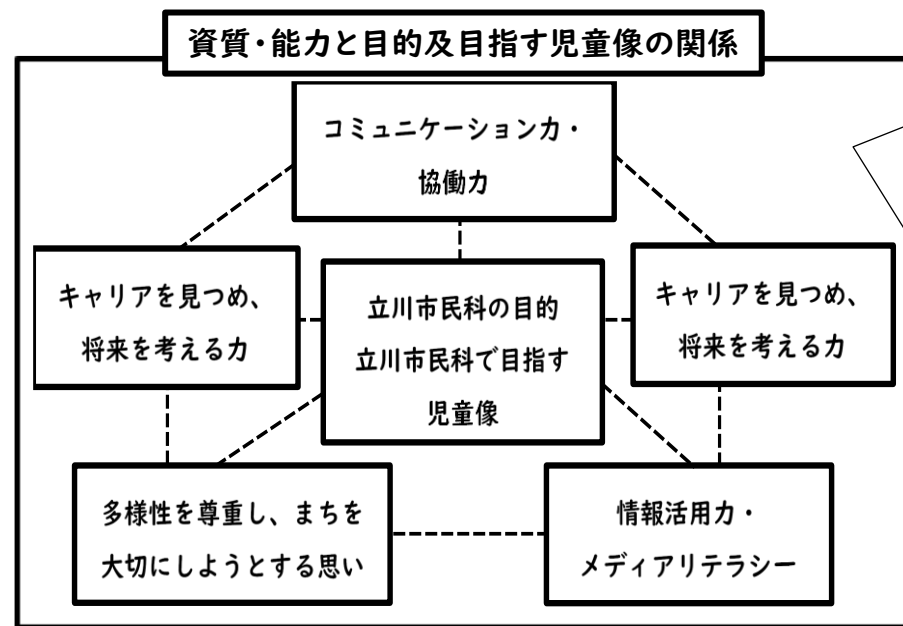


立川市民科について

『立川市民科』では、地域に根ざした探究的な学習等を通して、市民性を育むことにより、多様性を尊重し、世界の人々とも力を合わせ、「よりよい社会」の実現に向け、主体的に考え、行動する市民を育成することを目的としています。



本校では全学年において重点的に育みたい資質・能力を「多様性を尊重し、まちを大切にしようとする思い」とし、それに関連する単元を設定しています。その他にも1、2年生では、「コミュニケーション力・協働力」、3年生以上では「課題解決力・社会参画力」「情報活用力・メディアリテラシー」、6年生では「キャリアを見つめ、将来を考える力」に関連する単元を設定することで、6年間で全ての資質・能力を網羅できるように計画をし、取り組んでいます。

こんな学習をしています

6年生 「立川市の魅力再発見！」

立川市の魅力について調べたり、立川市や地域がよりよくなるためにどうすれば良いのか考えたりしました。「立川市の子育て支援や高齢者支援について調べたい」、「立川市の豊かな自然や、みんなが遊ぶ公園の環境を守っていききたい」、「立川市産の食材が入っているおいしい給食を残さないようにフードロス問題に取り組みたい」等、自ら課題意識をもち、課題を解決するために学習を進めています。



【立川市民科担当よりお願い】

立川市民科では、保護者や地域の皆様にご協力をお願いする学習が多くあります。立川市民科を通して、地域を知り、地域を大切にする思いを育み、地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画する児童を育てるために、今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

（立川市民科推進部：小林俊介 松本武 津田紗英子）

特別支援教育について

子どもたちの苦手なこと、成長の仕方などは一人一人異なります。周囲の人たちが、少しサポートをしたり、困りごとや悩みごとに寄り添ったりすることで、子ども自身が困難を自分で乗り越えたり、解決できたりすることがあります。

学校での悩み事

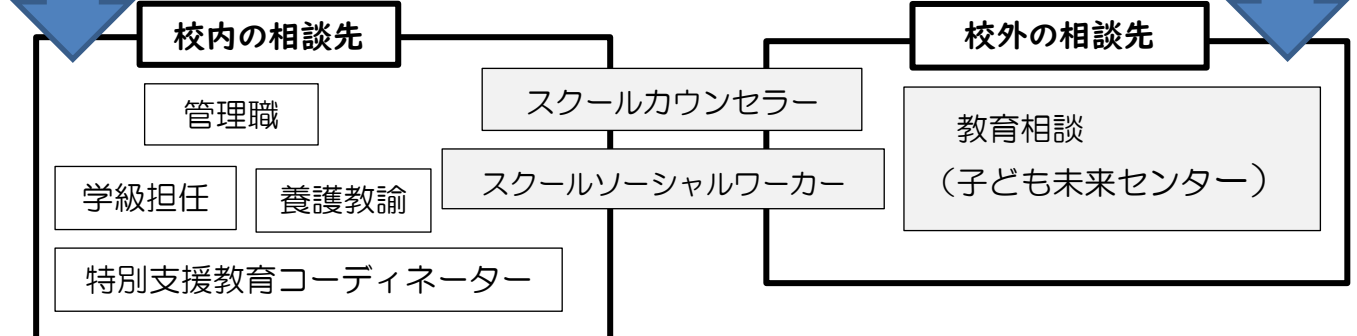
- ・友達と仲良くできているかな…
- ・勉強についていけているかな…
- ・物をよくなくしてくるなあ…
- など



家での悩み事

- ・ゲームがやめられない…
- ・なかなか朝起きられない…
- ・言うことを全然聞いてくれない…
- など

困り感やつまずきへのサポートの仕方は一人一人様々で、正解やゴールが示されておらず、悩まれる保護者の方も少なくありません。お悩みの際は、様々な相談先があります。また子どもたちが自信や意欲を高めて、生活や学習ができるように、学校、家庭、地域と連携してサポートしていくことが大切になります。少しでも気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



○教育相談

⇒家庭・学校における悩みごとに心理の専門相談員が相談にあたっています。事前予約制ですので、まずは教育支援課に電話をしていただき、初回相談の予約をお取りください。

○スクールカウンセラー（SC）

⇒保護者、児童の悩みごとに、心理的なサポートを行う専門家です。一小では、毎週水曜日が面談日になっています。学校への電話でSCと日程の調整を行います。（担任を介しての日程調整もできます。）

○スクールソーシャルワーカー（SSW）

⇒保護者・児童に向けた家庭での福祉的な支援が必要な場合に、相談に乗ったり、福祉サービス等の手続きを行ったりする福祉の専門家です。保護者からの相談内容に応じて、学校からSSWに依頼を行いますので、まずは学校にご相談ください。

立川市には、特性を踏まえた教育が受けられる環境があります

- ・キラリ：特別支援教室
- ・ことばの教室：難聴、言語障害通級指導学級
- ・あおぞら学級：知的障害特別支援学級
- ・さくら学級：自閉症、情緒障害特別支援学級
- ・おおぞら：適応指導教室（教育支援センター）
- など

上記の特別支援教室・特別支援学級の目標や学習活動等について知りたい場合も、お気軽にご質問ください。

（特別支援教育推進部：長島卓也 中村菜々 帆足征大 井竿早穂）